



今年度もコロナ禍にあり、保護者や地域の皆様に、子どもたちの様子を直接見ていただく機会がありません。そこで、子どもたちの学校での様子を校長だより「南風の子」としてホームページに掲載しています。お時間のあるときに、どうぞご覧ください。



「南風の子」のQRコードをご参照ください

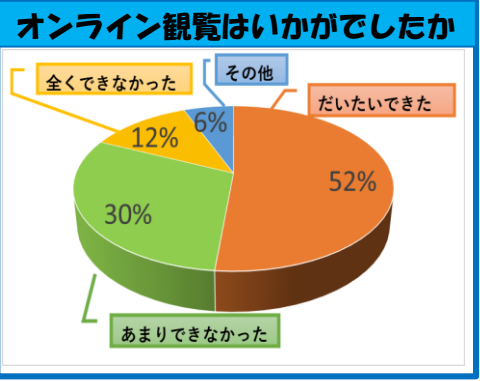
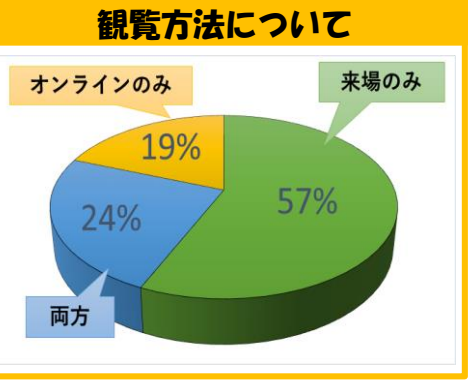
令和3年度後期スタート

5日間の秋休みをはさみ、令和3年度後期がスタートしました。現在、新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にあり、落ち着いています。前期に引き続き、手洗いの徹底、3密の回避、換気の徹底等、基本的な感染対策を行いつつ、「子どもたちのためになるのか」を常に問いながら教育活動の充実を図ってまいります。後期前半は、修学旅行や自然体験教室、校内遠足「チャレンジ・ザ・ミッション」、英語劇「泣いた赤鬼」観劇会等の学校行事、学習参観や個人面談を予定しています。また、コミュニティ・スクールの取組として実施中の「いつでも、どこでも、だれにでも挨拶運動」や「ウォームハートキャンペーン」などの取組についても、保護者や地域の皆様の御協力を得ながら、充実したものにしたいと思っております。後期も、どうぞよろしくお願いいたします。

**いつでも、どこでも、だれとでも、挨拶運動実行中！
大人も子どもも自分から進んで挨拶を心がけましょう。**

報告 スポーツ・イン・みなかせアンケート結果

学校行事等を実施する際の参考とするため、スポーツ・イン・みなかせの開催に関してアンケートを実施いたしました。御協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。結果について、以下のとおり報告します。
【回答期間：10月6日～10月11日／回答者数 62名】



当日は、「来場のみ」と「両方」と回答された方が約8割をしめていました。ほとんどの御家庭が来場されて観覧されたということでしたが、各御家庭2名という人数の制限があり、やむなくオンラインでの観覧をされた場合もあったと思います。また、今回、初めて行ったオンライン観覧については、「十分に観覧できた」と回答された方は0%でした。「だいたい観覧できた」の回答も5割程度にとどまっています。

校内で子どもたちが観覧した映像は鮮明だったのですが、御家庭に配信する場合は、各御家庭によっても差があり、今後、検討が必要だということが分かりました。このたび、全く観覧できなかったご家庭については、学校の方で録画したものがありますので、御来校いただければ観覧していただくこともできます。ご連絡いただければ対応させていただきます。また、皆様からの御意見の中に、「オンラインができるならば、他の学年にも配信してほしい」「録画した映像をDVDに保存して配布してほしい」などのアイデアが示されていましたが、これらの点については個人情報保護の観点からクリアできない問題があり、現時点では実施することができない状況です。御理解いただきますようお願いいたします。

今回いただいた御意見・御感想について、限られた紙面ではありますが、紹介させていただきます。
○このような状況下で、先生方が試行錯誤、工夫され、開催されたことに感謝いたします。来場も混雑、混乱なく、スムーズだったと思います。
○オンライン観覧では在籍学年以外の観覧も可能になれば嬉しいです。
○児童や地域テントが無い分、保護者観覧スペースも広く、ゆっくり観られました。声援が無い分、もっと保護者の拍手があれば良かったです。
○オンライン配信自体はとても良かったので画質の改善をお願いしたいです。
○オンラインなしで、正面から演目を楽しみたかったです。
○直前に来場OKになったので、対応できなかった方が多数いました。
○オンラインで該当学年のみしか観覧出来ないのは残念だった。来場せず、オンラインで観覧できるのなら、全学年の観覧ができれば良かった。
○中心から撮るだけだと、中心にいた子しか映っておらずそれも誰か全くわかりませんでした。運動会の雰囲気を見ただけといった感じ。

アンケートを通して、保護者の皆様の様々な御意見、様々な思いを感じ取ることができました。今回いただいた御意見をもとに、今後の学校行事のあり方について、PTA執行部の皆様や地域の校区運営委員会の皆様とも協議を深めながら、子どもたちにとって最善の方法を検討してまいります。
来年度こそは、たくさんの応援の中で精一杯頑張る子どもたちの姿を観覧していただきたいと願っています。

タブレットの活用&外国語の充実「風×風プロジェクト」

一人一台タブレットの活用と外国語教育の充実は、糸島市の教育施策として重視していることは以前からお伝えておりました。小学校における外国語教育では、子どもたちが英語を使って、いろいろな人とつながることの楽しさを味わうことが、目標の一つになっています。そこで、他の学校の子どもたちと、オンラインで交流することができないかを検討し、このたび、糸島市内で「風」がつく学校同士、東風小と南風小の6年生が外国語でのやりとりをする学習を実現することができました。この活動によって、英語を使う目的もできます。子どもたちは学校の紹介と夏休みの思い出について、交流することになりました。



東風小学校の子どもたちがタブレットの画面に写ると、早速交流を始めている子どもたちの姿がありました。初めてのことで、戸惑うこともあったと思いますが、予定していた英語での交流が終わったら、日本語でいろいろな会話を楽しむ姿もありました。新しい学びの姿を見ることができました。下は、活動を終えた子どもたちの感想です。

○今まで学習してきて、それを使ったので、うれしかったです。もっと英語でいろいろな人とつながってみたいです。
○今までは先生とパフォーマンステストでやりとりをしていたけれど、いざ、他の人と話すとすごく気まずい感じがしました。でも、こういう機会を設けてくださった先生方に…ありがとうございます。
○今までのことを十分にできたし、楽しく会話できてよかったです。また、他の学校の人とも会話をしてみたいと思いました。
○現在形や過去形の使い方がなんとなくできるようになってよかったです。あと、東風小との英語でのやりとりも緊張したけど、通じることが楽しかったので、またやってみたいなと思いました。